

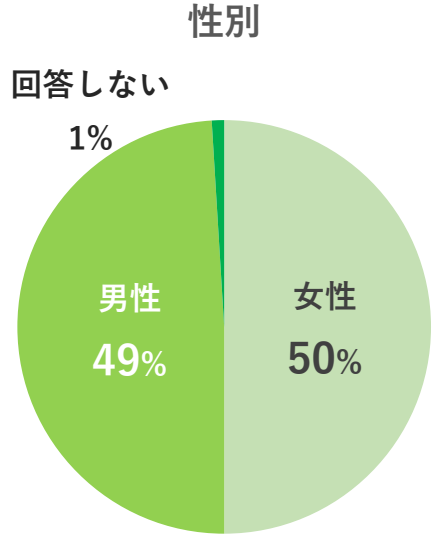
中心市街地に関するアンケート（市政モニター）集計結果（詳細）

中心市街地への来街についての消費行動や必要な都市機能を把握し、今年度策定予定の中心市街地のまちづくりに関するビジョン、並びに、令和5年度策定予定の第4期八戸市中心市街地活性化基本計画の検討にあたっての参考とするため、アンケートを実施したものを。

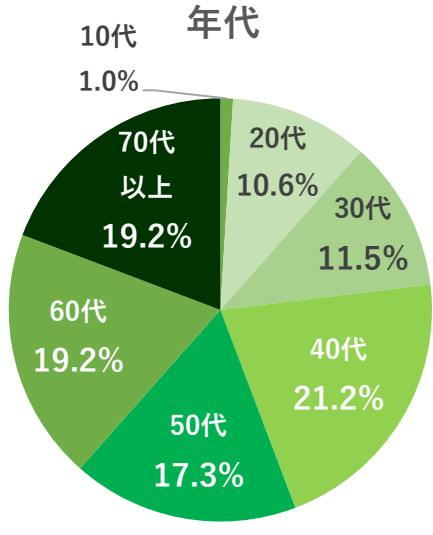
○実施時期：令和4年10月28日(金)～11月14日(月)
○対象者：市政モニター114人
○回答数：104
○回答率：91.2%
※無回答を除いて集計しており、「n」はアンケート回答総数を示しています。
複数回答の場合、回答の比率が100%を超える場合があります。

1. 基礎情報について

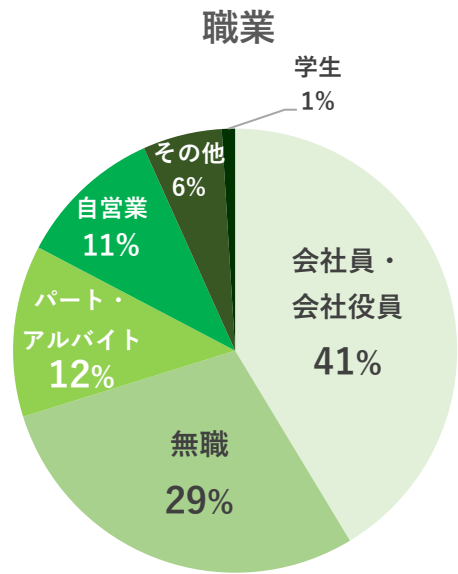
(1)性別（n104）



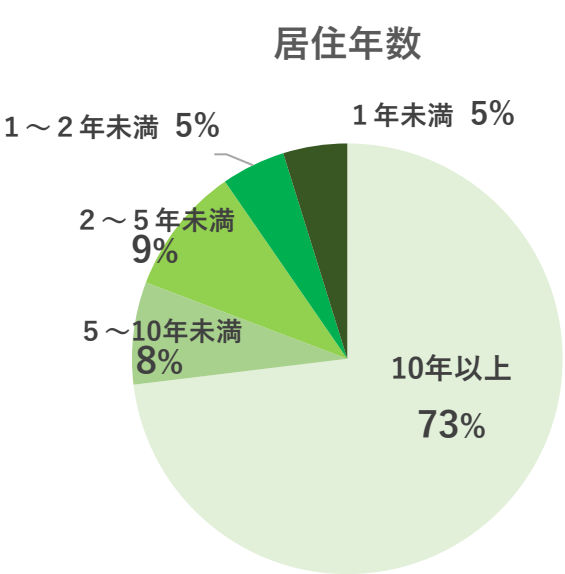
(2)年代（n104）



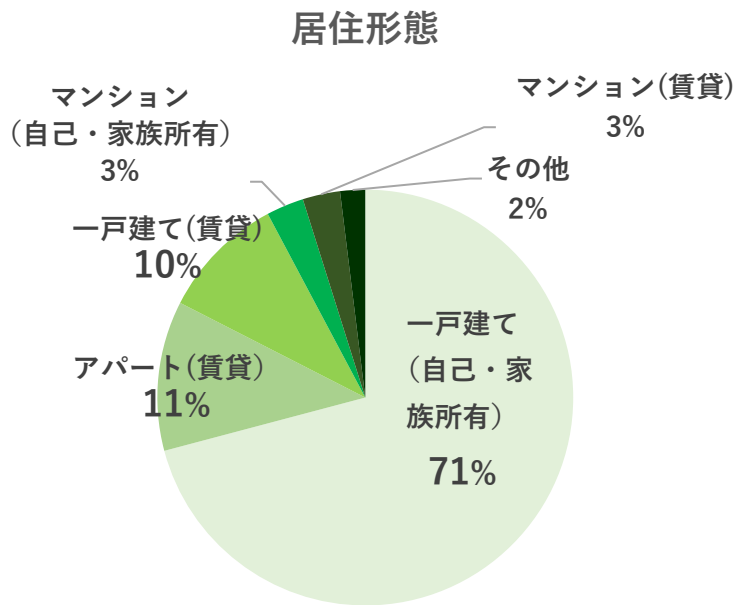
(3)職業（n104）



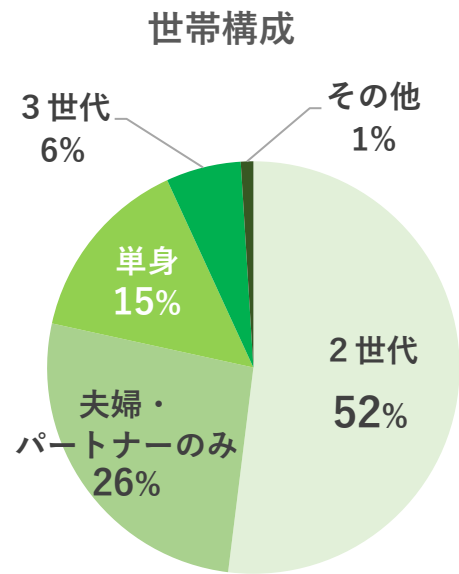
(4)居住年数（n104）



(5) 居住形態 (n 103)



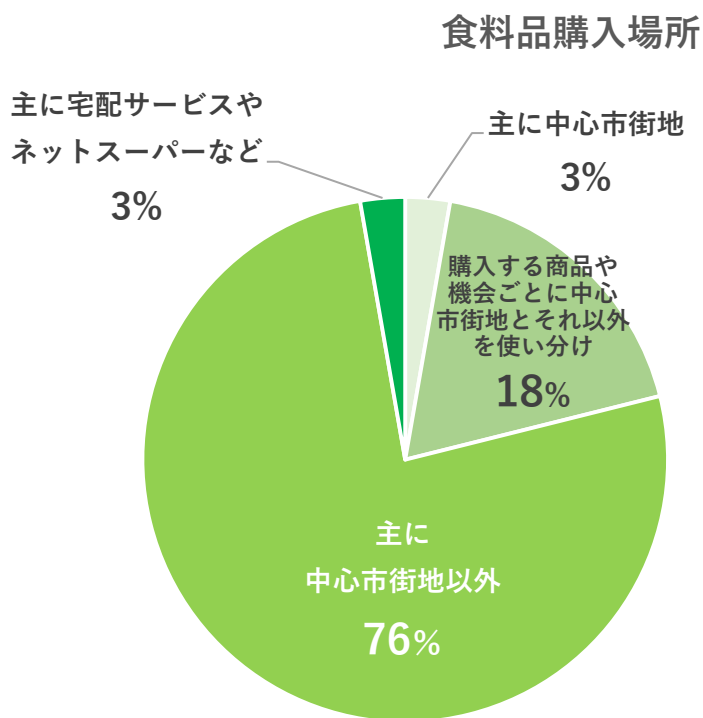
(6) 世帯構成 (n 102)



2. 普段のお買い物や行動について

以下の商品を購入する際の購入先やその店舗をよく使う理由等について

(1) 「食料品」の主な購入先 (n 109)



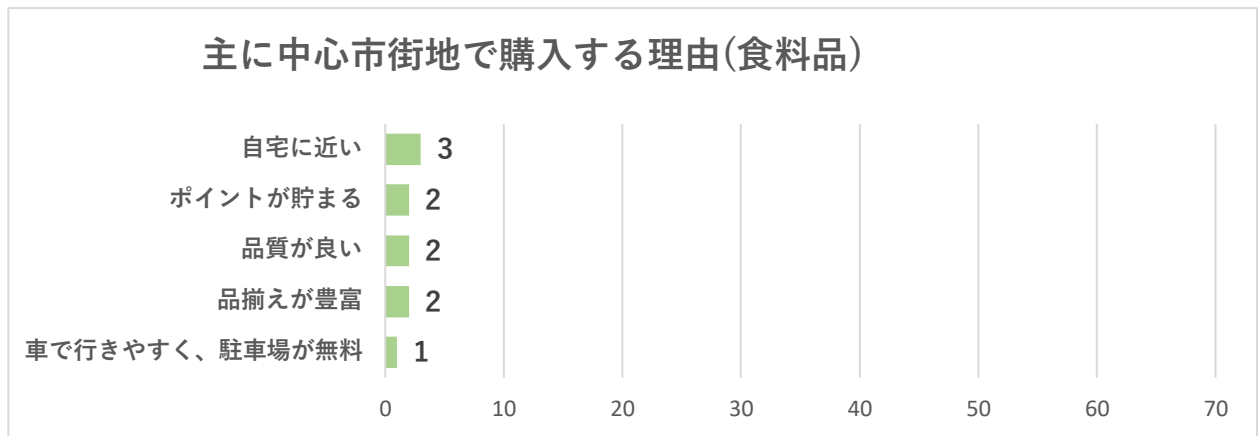
中心市街地で買物する方

21%

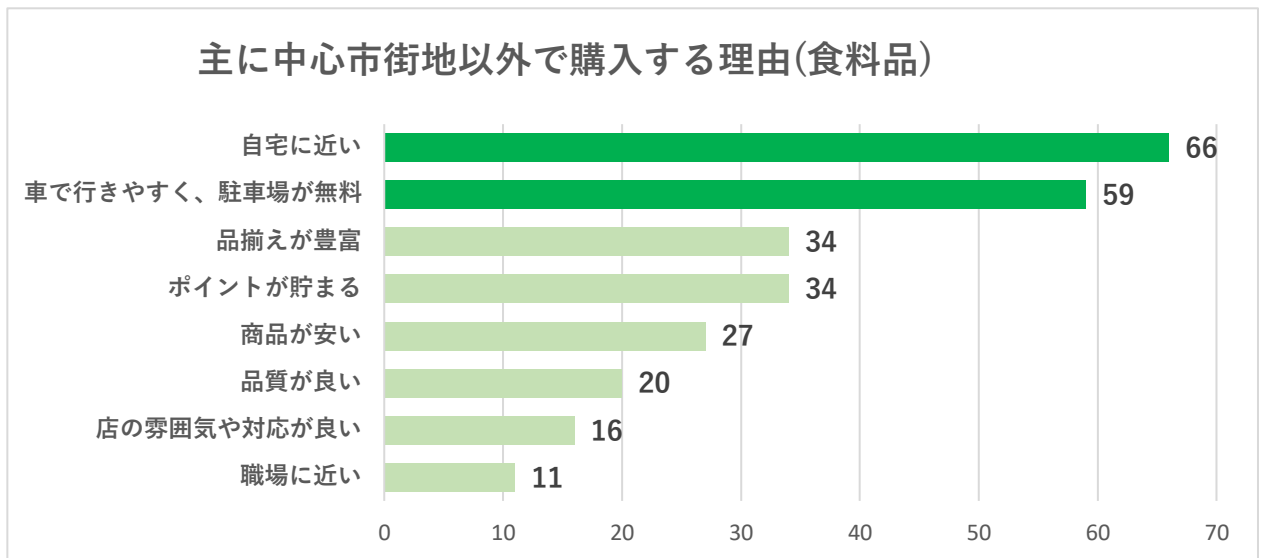
※主に中心市街地と購入する商品や機会ごとに中心市街地とそれ以外を使い分けている方の合計

(2)(1)の「食料品」の店舗等をよく使う理由 ※複数回答可。

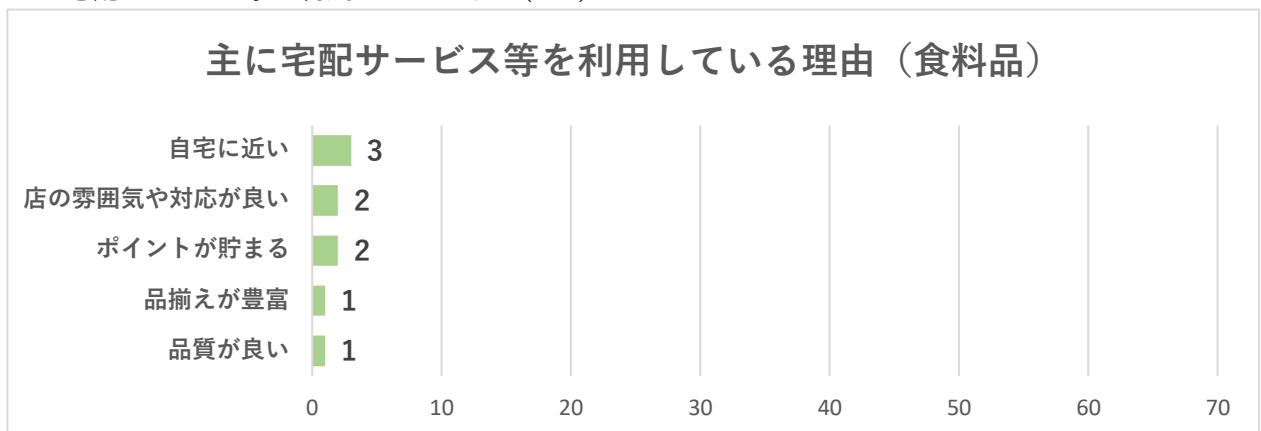
○主に中心市街地で購入している方 (n10)



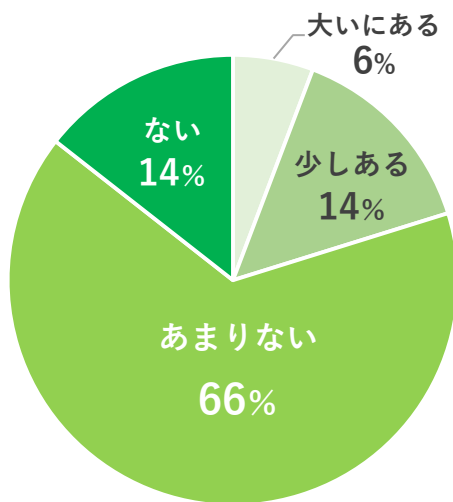
○主に中心市街地以外で購入している方 (n267)



○主に宅配サービス等を利用している方 (n9)



(3)現状の「食料品」の買物環境に不便・不足があるか。(n104)

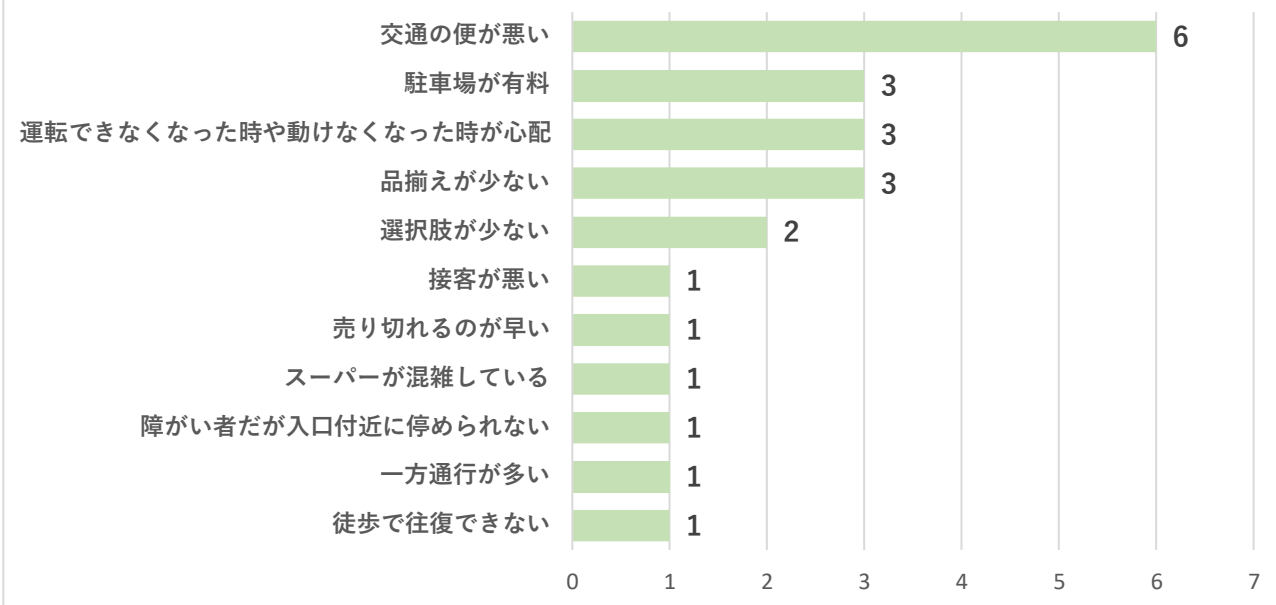


ないと回答した方

80%

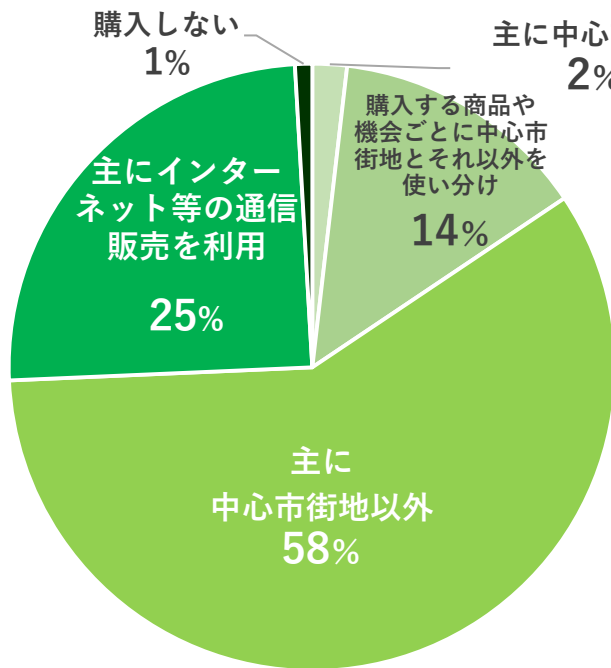
(4)(3)で「大いにある」「少しある」と回答した方の主な理由 (n23)

食料品の買物に不便・不足を感じている理由



(5) 「洋服」の主な購入先について (n 109)

洋服の購入先



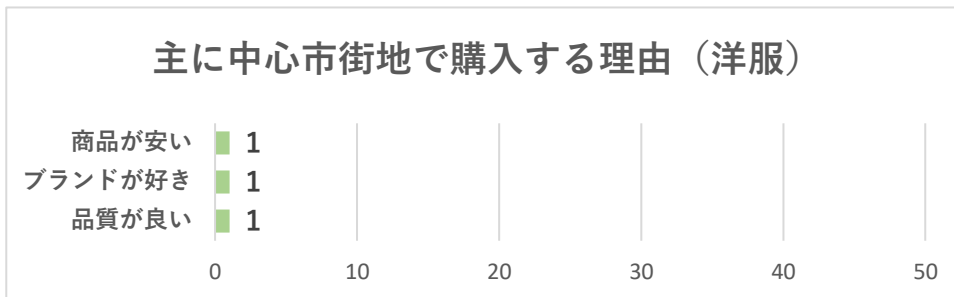
中心市街地で買物する方

16%

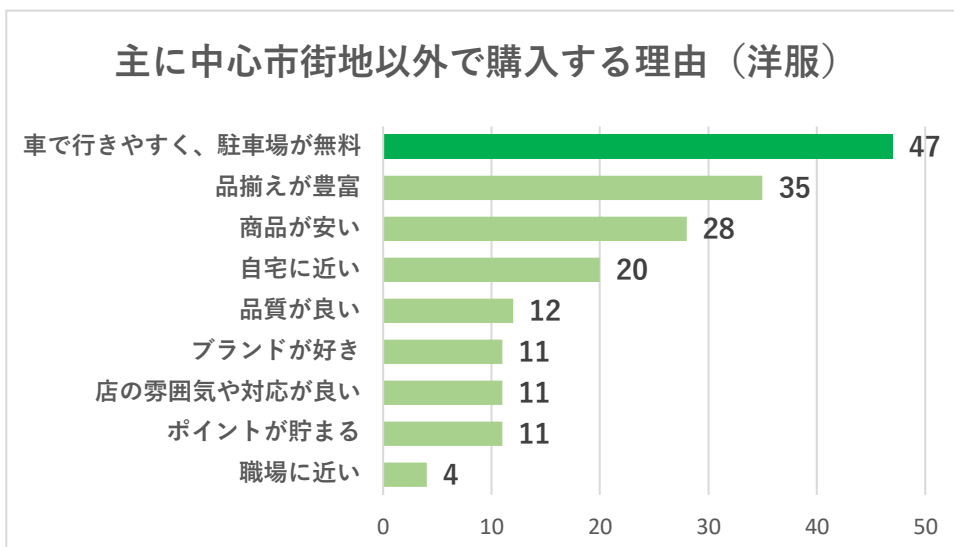
※主に中心市街地と購入する商品や機会ごとに中心市街地とそれ以外を使い分けている方の合計

(6) (5)の「洋服」の店舗等をよく使う理由 ※複数回答可。

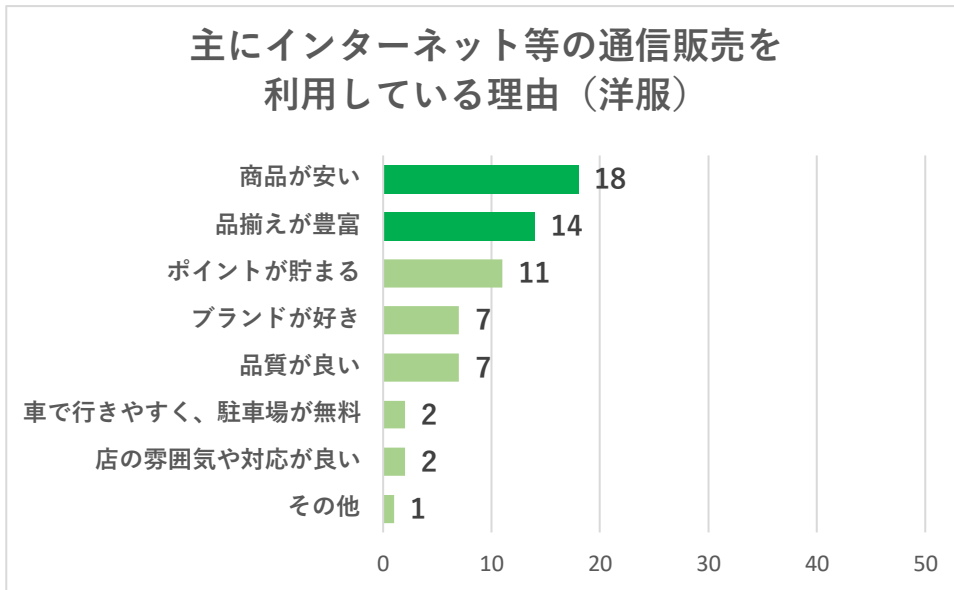
○主に中心市街地で購入している方 (n 3)



○主に中心市街地以外で購入している方 (n 179)

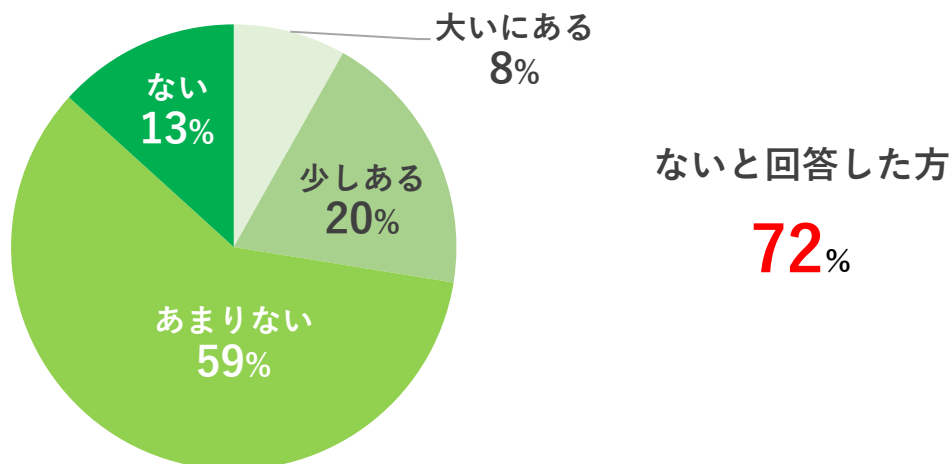


○主にインターネット等の通信販売を利用している方（n62）

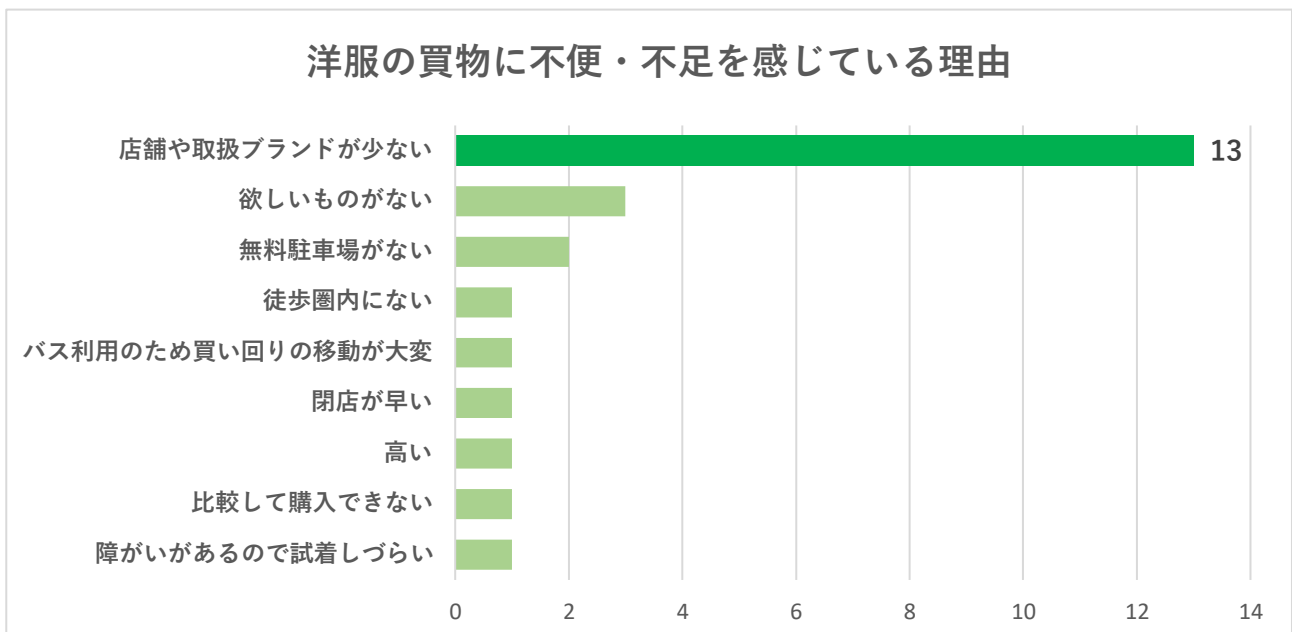


(7)現状の「洋服」の買物環境に不便・不足があるか。（n98）

洋服の購入に不便・不足があるか

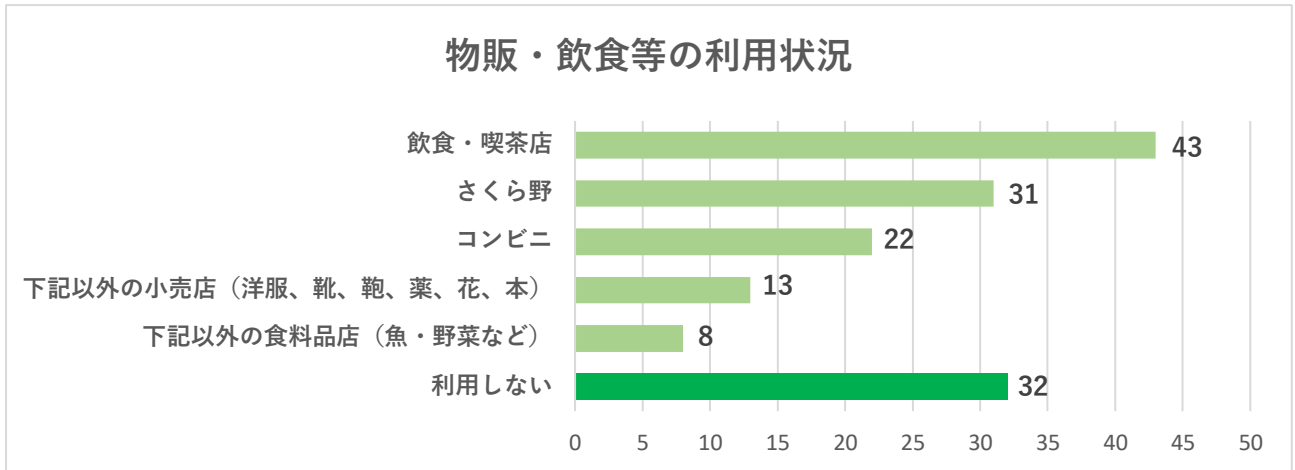


(8) (7)で「大いにある」「少しある」と回答した方の主な理由（n24）



3. 中心市街地で利用される場所等について ※複数回答可。

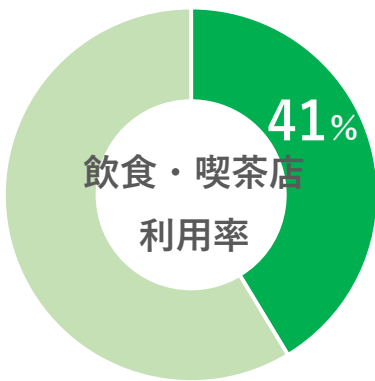
(1)物販・飲食等の利用状況 (n149)



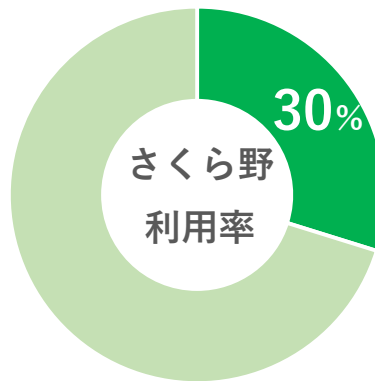
※回答数 n 104 に対する割合

○飲食・喫茶店

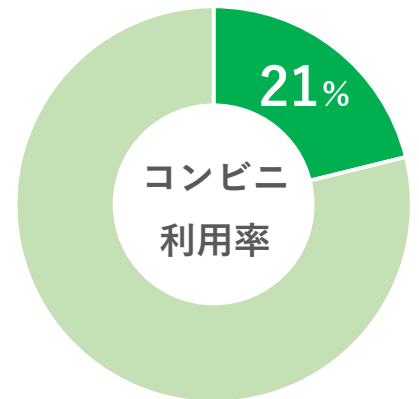
(食事や飲酒など)



○さくら野



○コンビニ



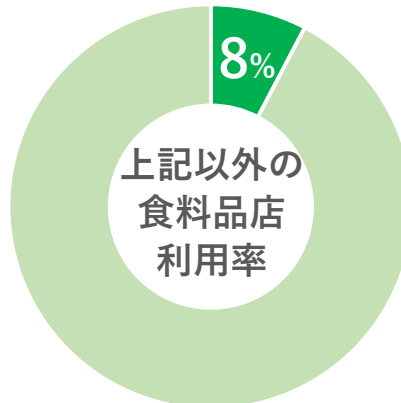
○上記以外の小売店

(洋服、靴、鞆、薬、花、本)

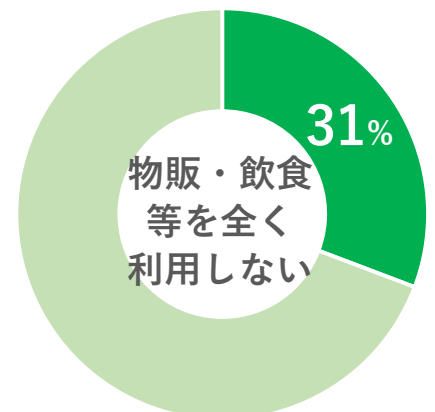


○上記以外の食料品店

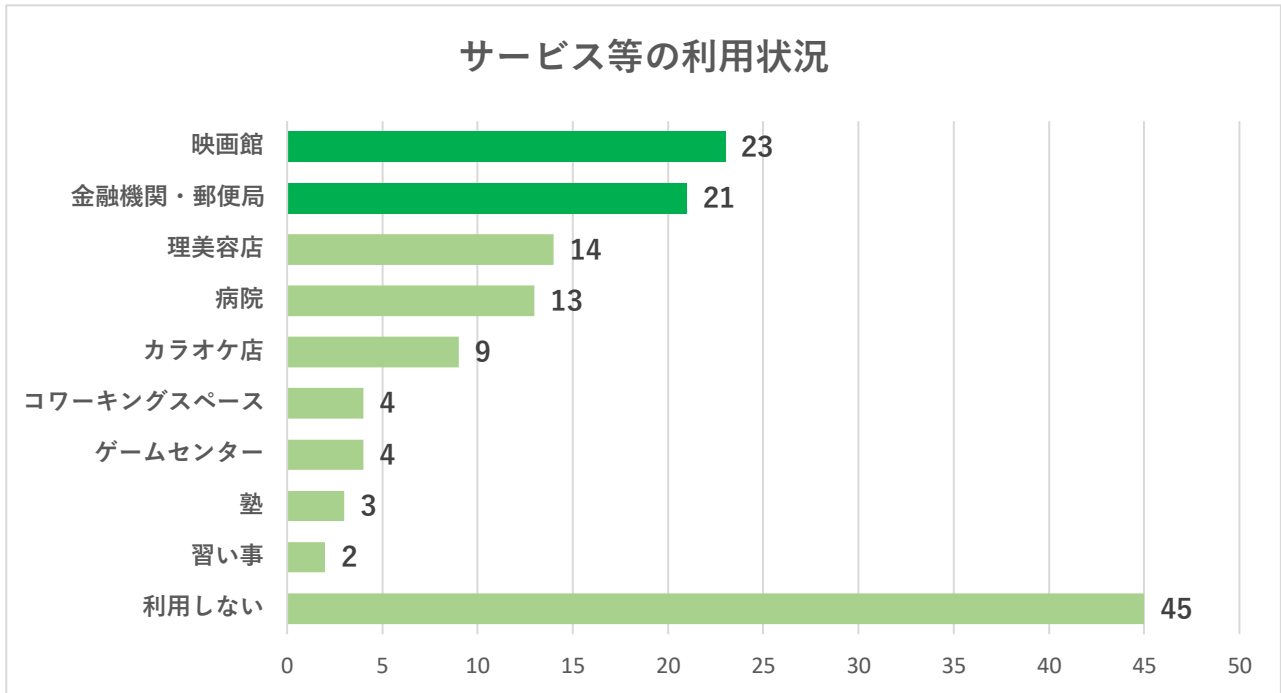
(魚・野菜など)



○物販飲食を全く利用しない

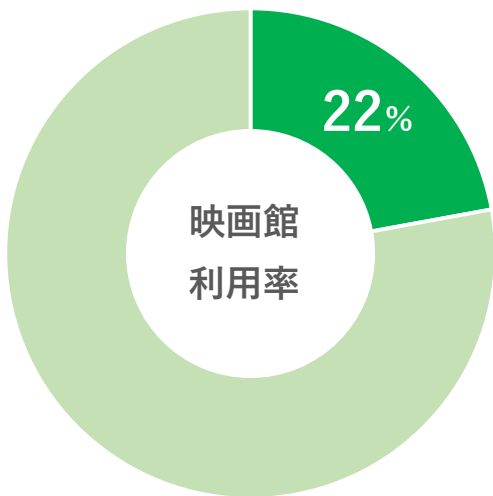


(2)サービス等の利用状況 (n138)

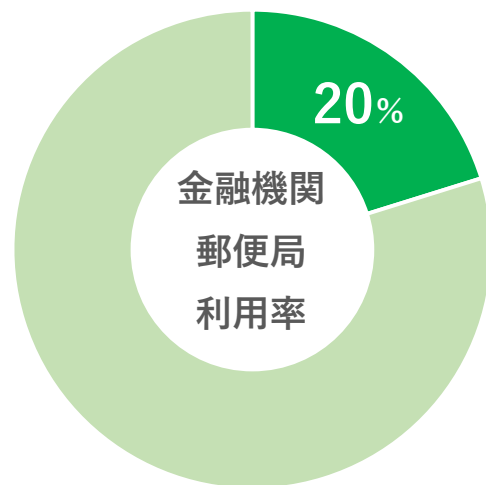


※回答数 n 104 に対する割合

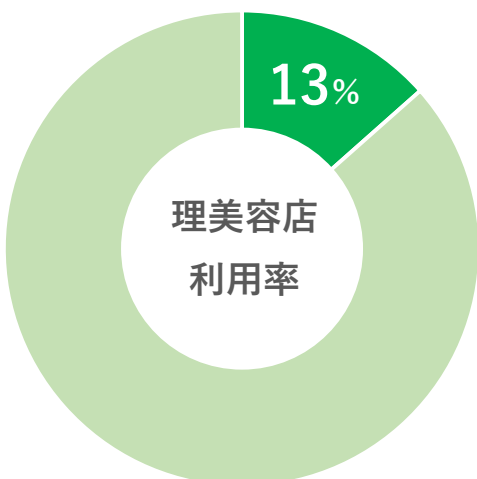
○映画館



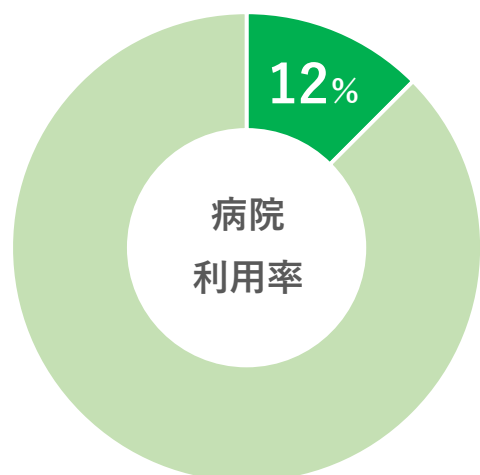
○金融機関・郵便局



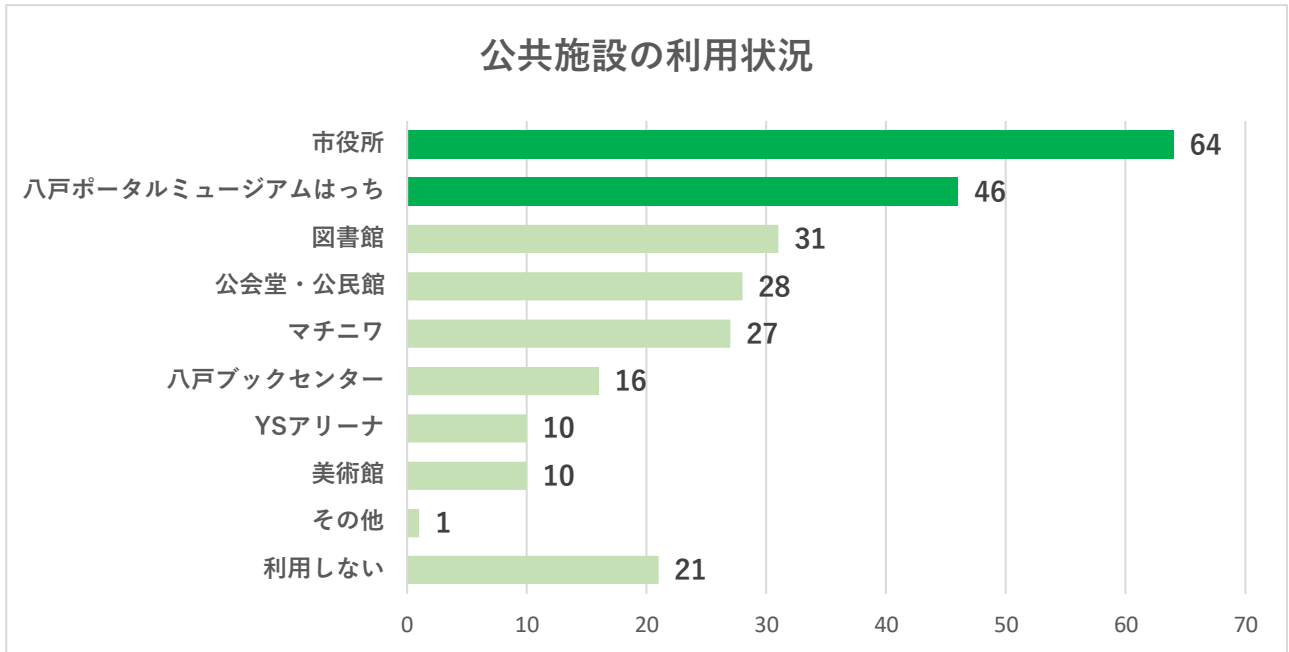
○理美容店



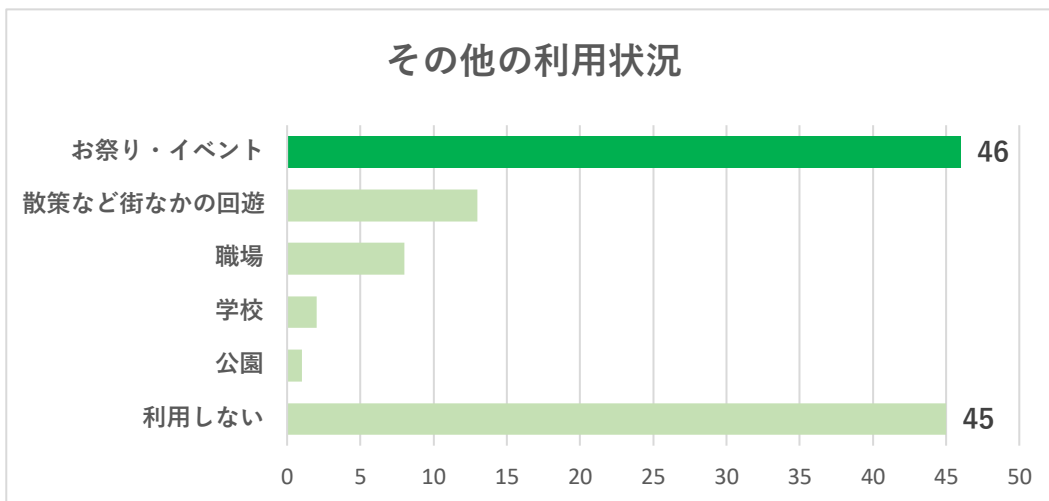
○病院



(3)公共施設の利用状況 (n 254)

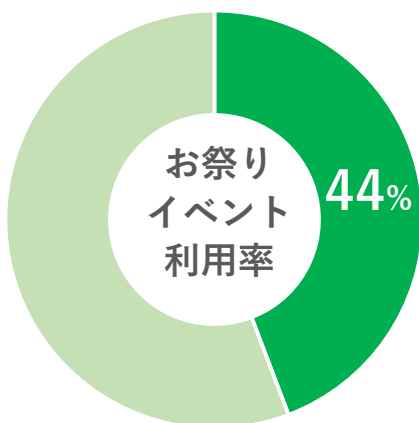


(4)その他の利用状況 (n 115)

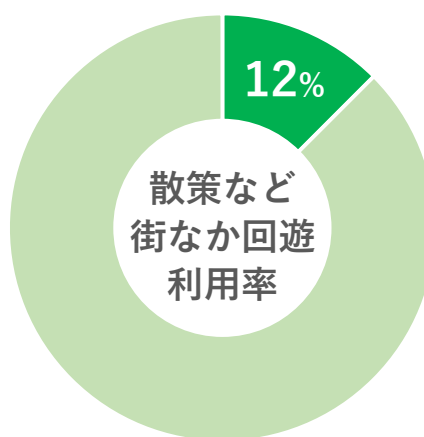


※回答数 n 104 に対する割合

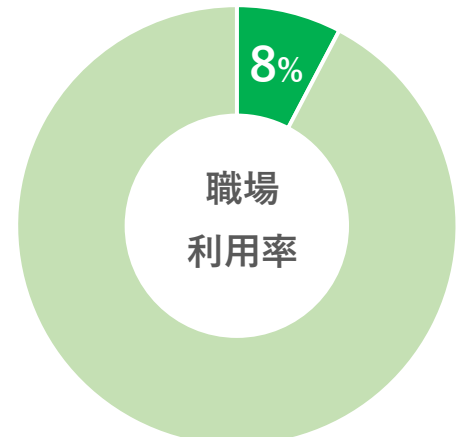
○お祭り・イベント



○散策など街なかの回遊

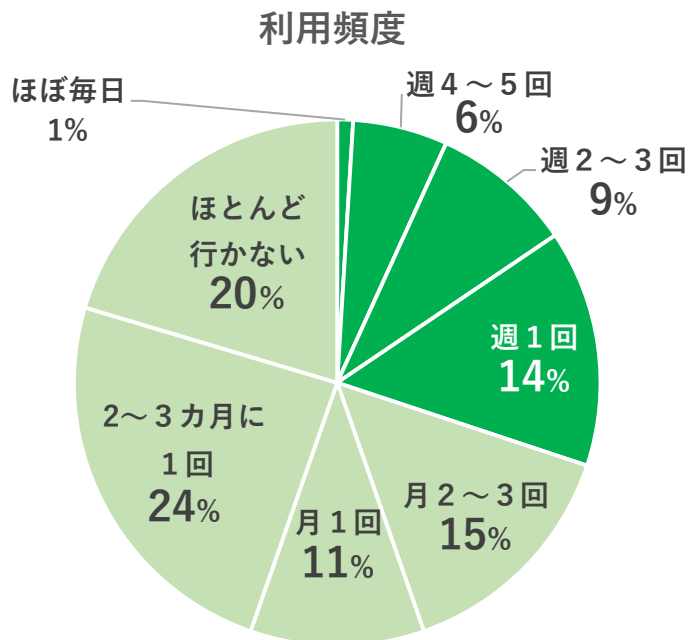
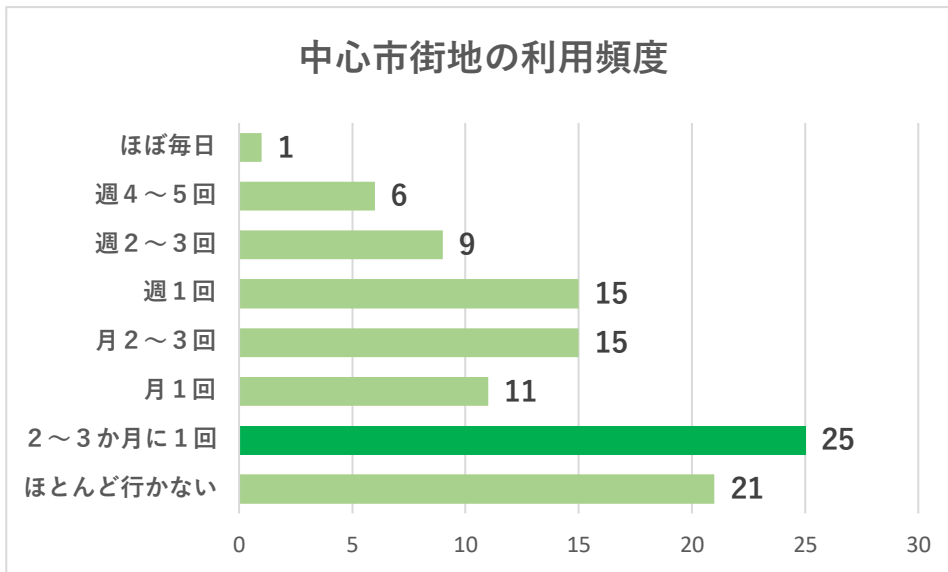


○職場



4. 3で回答した目的地にお出かけになる頻度とその移動手段について

(1)利用頻度 (n 103)



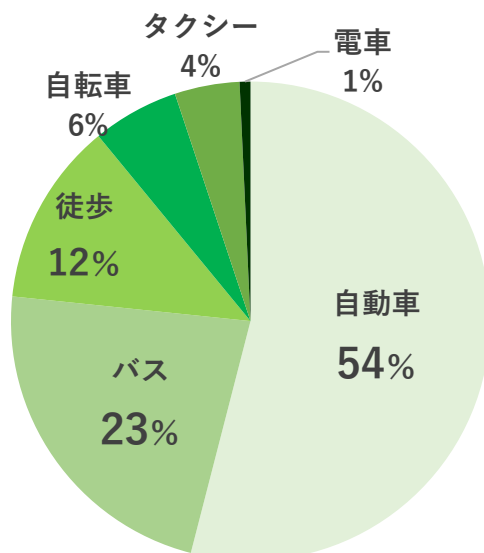
中心市街地を
週1回以上利用する割合

30%

ほとんど行かないと回答した方の理由

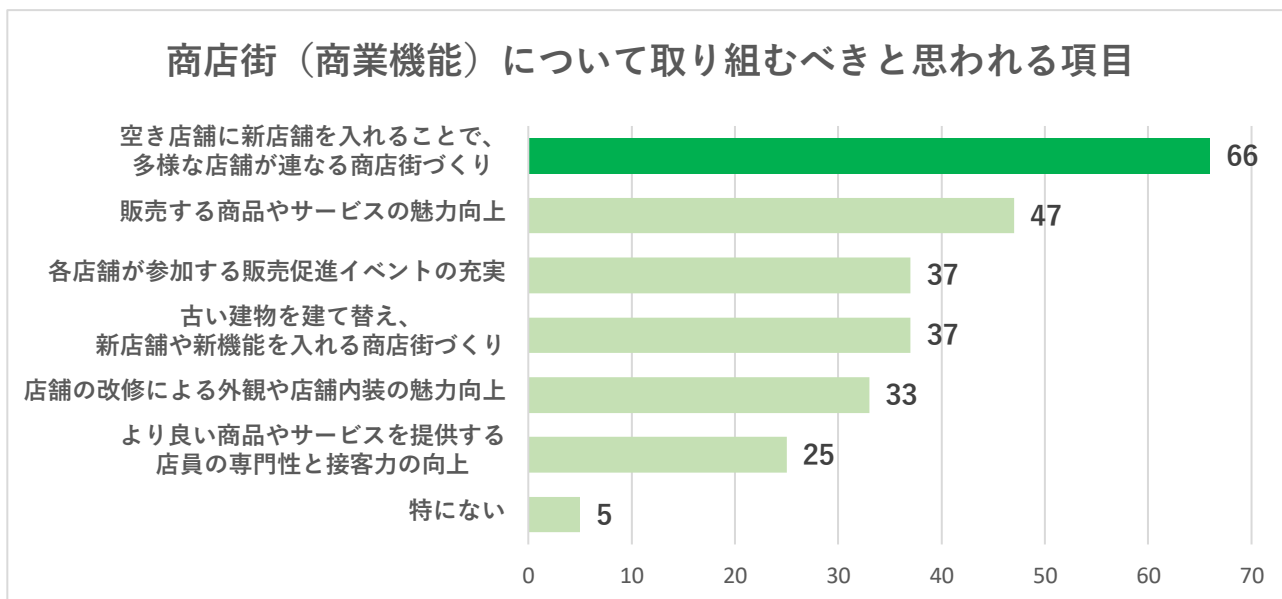
- 魅力や行く必要がない 17
- 無料駐車場がない 4
- 道がよくない 1

(2)移動手段 (n 448) ※複数回答可。

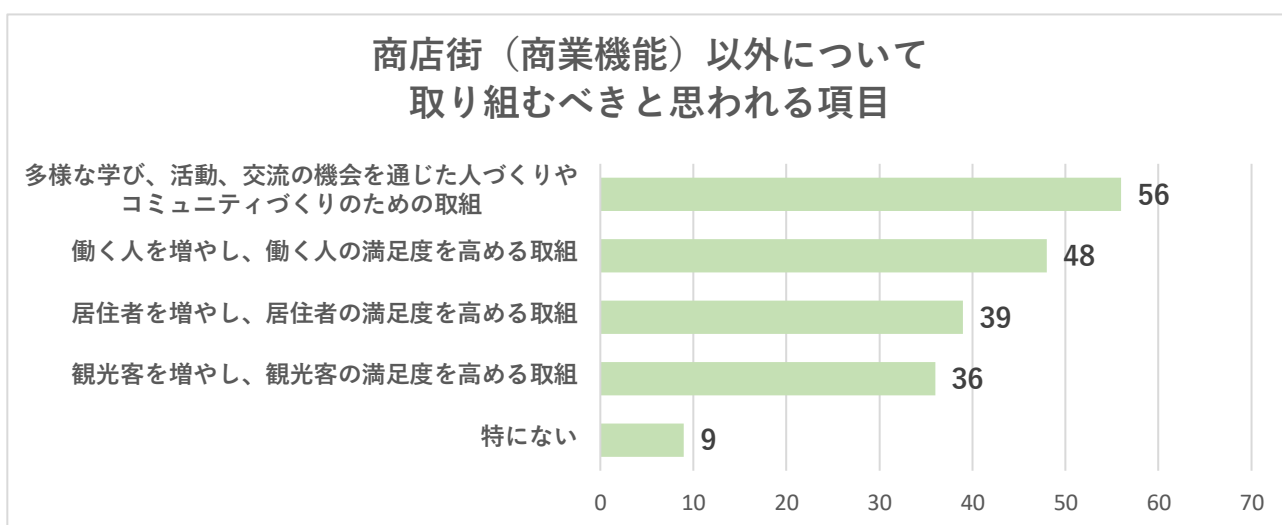


5. これからの中心市街地について ※複数回答可。

(1) 商店街（商業機能）について、今後、商店街を魅力的にしていくために取り組むべきと思われる項目は何ですか。（n250）

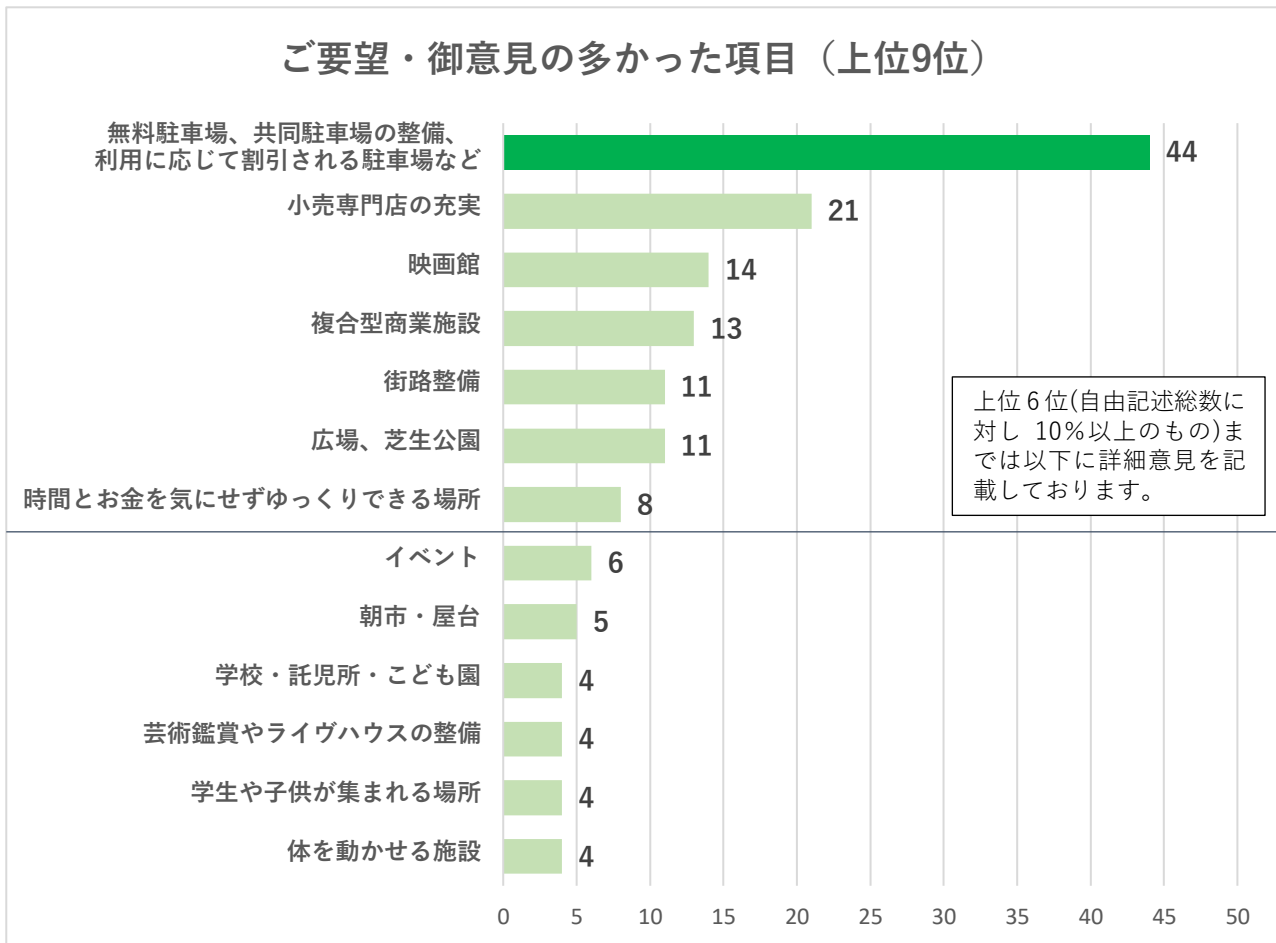


(2) 商店街（商業機能）以外について、今後、中心市街地のまちづくりとして取り組むべきと思われる項目は何ですか。（n188）



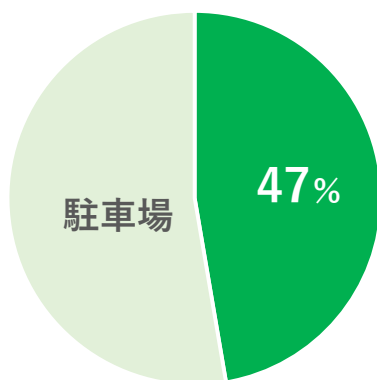
6. 自由記述まとめ

(1)自由記述（カテゴリ別上位9位）



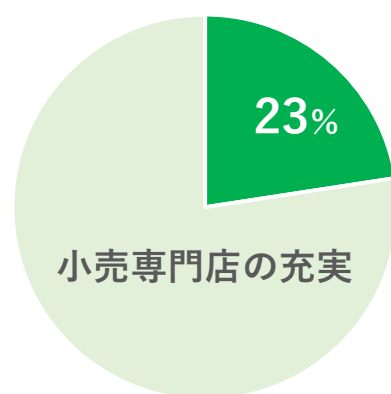
(2)カテゴリ別

①「駐車場」に関する主な意見



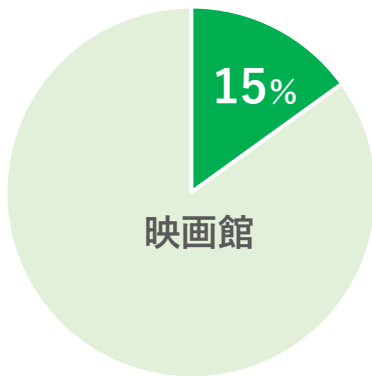
- ・ 無料駐車場
- ・ 共同駐車場の整備
- ・ 施設利用での割引や駐車券の配布
- ・ 駐車場の利便性向上
- ・ 駐車場が遠く子連れには大変

②「小売専門店の充実」に関する主な意見



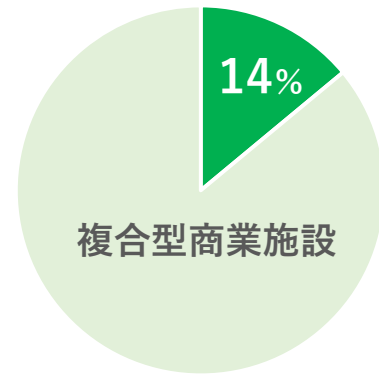
- ・ 郊外にはない店舗
- ・ 高級ブランド店
- ・ ウィンドウショッピングが楽しめるような商店街
- ・ 健康や環境に配慮した小売店

③ 「映画館」に関する主な意見



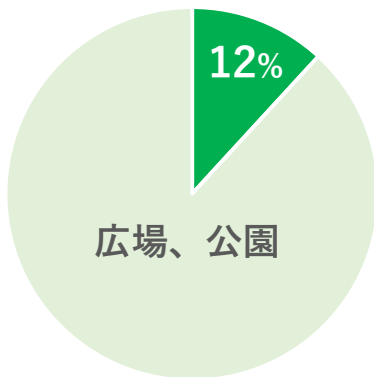
- ・映画館の新設

④ 「複合商業施設」に関する主な意見



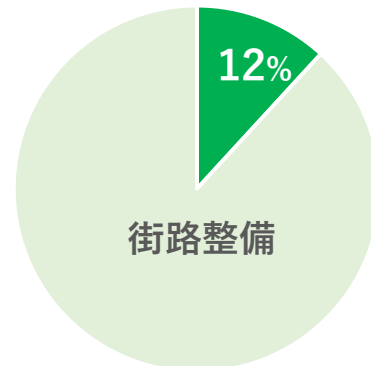
- ・ショッピングモールのような全てのものが揃う場所
- ・一日中いても楽しめる施設
- ・新たなデパート
- ・イオン下田やラピアのような複合型店舗

⑤ 広場、公園



- ・グランドゴルフ、パークゴルフ場
- ・誰でも気軽に休憩できるベンチのある芝生
- ・親子も小中学生も楽しめる遊具がある公園
- ・日除け付きの緑が多い公園

⑥ 街路整備



- ・段差が多く、高齢者には歩きづらい
- ・冬に凍結せず滑らない歩道
- ・子供からお年寄りまで歩いて楽しいまちになってほしい
- ・歩道を広げ、車いすの人でもゆったり通れる、ただふらっと行きたくなるような街路を作ってほしい
- ・ベンチが少ない

⑦その他意見まとめ

カテゴリ	内容	主な意見
公共的空間	お金や時間を気にせずゆっくりできる場所	旧まちの駅にあったような高齢者が集える場所が欲しい。はっち、マチニワは若者が利用していきづらい。
子育て 文化 教育 福祉施設	体を動かせる施設	雨でも楽しく運動できる施設。運動スペースやトレナーの常駐した軽運動場。
	親子で楽しめ、学生や子供が集まれる施設や店舗	アスレチック系の自然がある空間。子供が広々と遊べる施設。子供と一緒に入れる飲食施設。親子で楽しめる娯楽施設。親子で楽しめる屋内運動場。
	芸術鑑賞やライブハウスの整備	音楽を楽しめるライブハウスがほしい。古い建物を壊し、芸術鑑賞できる場所をつくる。
	学校・託児所・こども園	中心街に大学を移転。サテライトキャンパスの設置。託児所やこども園の設置で常に子供が来る環境を。
利便性向上	朝市・屋台	祝日限定で館鼻朝市のようなものを日中開催。韓国、明洞のような屋台。常時屋台の出店。サンデーマーケット。湊朝市の縮小版のような形でも。
	案内MAPやアプリの提供	どこにどんなお店があるのか分からないので、案内MAPなどがあれば行きやすい。禁煙のお店に行きたいので、喫煙可能店を地図のオープンデータ化またはWEBアプリにしてほしい。
	ペットと訪れやすい街	ペットを気軽に連れていける環境にしてほしい。ドッグカフェや犬の服屋があれば。ホコテン等のイベントでドッグふれあいなどもあれば、郊外からも来街者が増えるのでは。
	温泉	展望風呂。清潔な入浴施設がほしい。
	図書館の整備	現在の学習スペースが狭い。仕切りのある学習スペースが欲しい。子供向けの図書館がほしい。
交通	公共交通の利便性向上	バス停が散在していて分かりづらい。小路にミニバスを走らせてほしい。交通手段を集約して案内してくれる窓口があったら便利。
にぎわい	イベント	はっち、マチニワを活用したイベントの実施。うまいもの展のようなイベント。更上閣のキッチンカーイベントはまたやってほしい。

7. アンケート全体まとめ（市政モニター分）

【食料品の買物環境】

食料品の買物環境については、普段、中心市街地以外で購入されている方の割合は76%で、8割の方が現状の買物環境に不便・不足を感じていないと回答している。

また、中心市街地以外で買物している理由として、「自宅に近い」や「車で行きやすく、駐車場が無料」が多かった。

【洋服の買物環境】

洋服の買物環境については、中心市街地以外とインターネット等の通信販売を利用されている方の割合は83%で、7割を超える方が現状の買物環境に不便・不足を感じていないと回答している。

また、中心市街地以外で購入する理由は、「車で行きやすく、駐車場が無料」、「品揃えが豊富」が多く、インターネット等を利用されている方は「商品が安い」、「品揃えが豊富」が多かった。

【物販・飲食等の利用状況】

中心市街地での物販・飲食等の利用状況については、「飲食・喫茶店」の利用率が41%と最も高く、次いで「さくら野」は30%の方が利用していると回答した。また、「全く利用しない」と回答した方は31%であった。

【サービス等の利用状況】

サービス等の利用状況については、「映画館」が22%「金融機関・郵便局」が20%と高かった。

【公共施設の利用状況】

公共施設の利用状況については、「市役所」が62%、「八戸ポータルミュージアムはっち」が44%と高かった。

【その他の利用状況】

その他の利用状況については、「お祭り・イベント」が44%、「散策など街なかの回遊などの利用」が12%となった。

【出かける頻度と移動手段】

中心市街地に出かける頻度については、「2～3カ月に1回」と回答した方の割合が24%と最も高く、週1回以上利用すると回答した方は30%であった。移動手段としては、自動車が54%、バスが23%となった。また、「ほとんど行かない」と回答した方の中には、「魅力や行く必要がない」と回答した方が最も多かった。

【これからの中心市街地について取り組むべき項目】

商店街（商業機能）で取り組むべき項目については、「空き店舗に新店舗を入れることで、多様な店舗が連なる商店街づくり」が最も多く、次に「販売する商品やサービスの魅力向上」が多かった。

商店街（商業機能）以外で取り組むべき項目については、公共施設での文化・スポーツ活動や、マチニワ等のイベントでの交流機会の充実などを例とした「多様な学び、活動、交流機会を通じた人づくりやコミュニティづくりのための取組」が最も多く、次に、IT産業など業務機能の集積や、コワーキングスペースなど働く人にとって利用しやすい機能の充実などを例とした「働く人を増やし、働く人の満足度を高める取組」が多かった。

【自由記述】

要望・意見の多かった自由記述は、自由記述総数に占める割合が10%以上の項目では、1位「無料駐車場、共同駐車場の整備、利用に応じて割引される駐車場など」、2位「小売専門店の充実」、3位「映画館」、4位「複合型商業施設」、5位「広場・公園」、6位「街路整備」となった。

